

平成 30 年度 事 業 報 告 書

1 正会員数

期 首	60
入 会	1
退 会	1
期 末	60

2 「平成 30 年度事業計画」の進捗状況

(1) 公益法人としての取組み

①京都市との連携事業

前年度に引続き、3 月の伝統産業の日の関連イベントとして、市内の中学生・高校生及び留学生を対象とした「中高生・留学生限定！きもの着付け&和文化体験」を次のとおり実施した。

目 的	和装産業をはじめとする伝統産業に対する理解や知識を深め、伝統産業の振興に資すると共に国際交流の場として活用することを目的に、市内の中高生及び留学生を対象に、きもの着付け体験等を実施する。
日 時	平成 31 年 3 月 9 日（土）10 時～17 時 30 分
会 場	国立京都国際会館・ニューホール
内 容	10 時～ 開会、きもの着付け体験、マナー指導 11 時～ 市内散策 15 時～ 和文化体験（①～⑤） ①茶道体験、②金彩工芸アクセサリ作り体験、③ミニ提灯づくり体験、④和蠟燭絵付け体験、⑤金箔押し体験、その他プロカメラマンによる写真（データ）のプレゼント 17 時～ 集合、たたみ方指導、順次解散
主 催	京都市、「伝統産業の日」実行委員会
共 催	（一社）京都産業会館、（公財）国立京都国際会館
応募対象	京都市内に在住又は通学の中学生・高校生及び留学生（年齢不問）
定 員	200 名（先着申込順、うち留学生は 20 名程度）
参加費	500 円または 1000 円（地下鉄一日乗車券付き）
参加者数	合計 125 名（中学生／男性 7 名・女性 77 名、高校生／男性 0 名・女性 31 名、留学生／男性 1 名・女性 4 名、ジュニア京都観光大使の中学生／男性 2 名・女性 3 名）
内 容	着付けや和装マナー等を指導及び自由散策を促した後、和文化体験を実施した。

②地場産業振興事業

ア 京都織物卸商業組合との連携事業

京都きものオーデイション開催委員会（京都織物卸商業組合他6団体）主催の「京都きものオーデイション（2019 京都・ミスきもの選考会）事業」に共催として本年度も支援協力を行った。

イ THE COMPE きものと帯の実施

前年度に引続き、京都市域に位置する大学や専門学校等の学生を対象とした、きものと帯のデザインコンペの実施に伴い、同コンペ実行委員会を設置のうえ、9月から応募期間（11月13日～15日）に向けた広報宣伝を行うとともに、図案制作に役立つよう、学校（協力先）と連携して、きものと帯の意匠法や基礎知識が学べる「きものデザイン講座」（9月～10月）をキャンパス等で開講した。

○受講者数 406名（前年度は241名）

○応募作品数 269点（前年度は345点）

○応募者数 231名（前年度は149名）

○応募者在籍校数 9校（前年度は10校）

応募作品は、同実行委員会（委員長は染色家、重要無形文化財[友禅]保持者の森口邦彦氏）の審査委員13名による審査会（11月29日開催）において、審査基準（若いフレッシュな感性と現代感覚が発揮された作品であり、きもの・帯の機能性を考慮した、見て美しく着用したときにも美しく見えるデザインであることを基準に、きもの文化を未来に継承、発展させる独創性、デザイン性を総合的に審査する。）をもとに選考を重ねて頂き、入賞の最優秀賞1点（京都市長賞）、優秀賞7点（近畿経済産業局長賞、京都商工会議所会頭賞、京都織物卸商業組合理事長賞、西陣織工業組合理事長賞、京友禅協同組合連合会理事長賞、京都新聞賞、公益社団法人京都デザイン協会理事長賞）のほか入選作品に8点を選定した。

作品の展示公開は、「伝統産業の日」実行委員会（事務局は京都市）並びにホテルグランヴィア京都の協賛を得て、同ホテルにおいて「入賞・入選作品展」を開催したほか、入賞作者の表彰等についても次のとおり举行了。

なお、最優秀賞「京都市長賞」（1点）の作品は、森口邦彦委員長による監修のもと、京都染織青年団体協議会を中心とした産学公連携により製品化し、同作品展で公開したのち、受賞者に副賞として贈呈した。

	作品の展示公開	入賞作者の表彰等
催事名	2018年度 THE COMPE きものと帯 入賞・入選作品展 (伝統産業の日 2019 関連事業)	2018年度 THE COMPE きものと帯 授賞式 (懇親会を含む)
日時	2019年3月13日～31日	2019年3月19日 11時～14時
会場	ホテルグランヴィア京都 2階ロビー	ホテルグランヴィア京都 5階「竹取の間」

(2) 法人運営の安定を図るための取組み

安定した経営基盤を確立するため、前年度の第3回理事会において、京都経済センター2階展示場に隣接する多目的ホール（所有者：京都府）を買い取ることにし、取得費用は、「京都産業会館施設改善積立金」の一部を取り崩して充てることについて承認を受けた。

今年度第1回理事会において、多目的ホール取得のための事業変更契約書等の締結について承認を受け、9月12日に取得費用337,018,040円を支出し、多目的ホールを取得した。

(3) 「京都経済センター（仮称）」整備事業への取組み

平成31年3月16日のグランドオープンに向けて、2階展示場、6階事務室の内装・設備の詳細について大成建設と鋭意協議を続け、平成31年1月11日の引き渡しをもって事務所を経済センター内へ移した。

また、2階展示場に関しては、4月オープンに先立ち「開業前予約プラン」（2019年4月～2020年9月に属する期間の申込受付）を作成し、会員（京都産業会館並びに京都織物卸商業組合）限定の一次申請受付（申請期間：6月20日～7月20日）を終え、8月10日に選考結果の可否通知及び内定先には請求書を発送した。また、8月20日からは一般も対象とした二次申請（受付条件：2日以上・2室以上、申請締切：9月10日）の受付を開始し、9月20日に選考結果の可否通知及び内定先には請求書を発送した。その結果は、WEBサイトにおいて予約状況カレンダーとして公開している。9月25日以降は、通常の予約・申請を受け付けている。当初「イベントホール」として案内していた2階展示場の名称は、10月23日開催の理事会において「京都産業会館ホール」と命名することの承認を受けたので、今後は「京都産業会館ホール」として宣伝していく。

さらに、京都経済センター区分所有予定者集会（準備会）事務局としては、平成31年1月11日の「京都経済センタービル管理組合」設立総会開催に向けて、管理規約・各種規則等の整備、平成30年度（1月～3月）事業計画・収支予算、理事・監事の選任等については各区分所有予定者と協議を続けてきた。そして、1月11日開催の設立総会において管理者に選任され、今後は「京都経済センタービル管理組合」の業務を代行する。

3 「創立50周年記念の象徴的作品」制作の進捗状況

新作の井隼慶人先生による作品は1月に完成し、取付・寄贈（展示公開）に備えてアートコーディネーターやデザイン等の専門家とともに、加工及び額装等について協議を重ね、京都経済センターのグランドオープンの日に除幕式を行った。

旧作の故：皆川泰蔵先生による作品（1990年、祇園祭山鉾巡行図）は、陶板画を題材に「リ・デザイン」を目指していたが、最適な版下データ等を得ることができないこと、記録資料から編集した場合は描画の美しさを損ねることが

見込まれるため、旧作については現存する原画（京都織物卸商業組合にて所有）が最も相応しいと判断し、原画の修理、補正を施したうえで新作と同時にグラインドオープンの日に除幕式を行った。

4 庶務事項

(1) 事務局職員

事務局長以下 5 名

(2) 役員会

会議名	開催日	議事内容
監事会	5月16日	・平成29年度決算の監査
理事会①	5月28日	・第54期通常総会に付議すべき事項等
通常総会	6月22日	・平成29年度事業報告書及び決算 ・理事・監事の改選（案） ・平成30年度事業計画及び予算
理事会②	6月22日	・理事長、副理事長並びに専務理事の選任
理事会③	10月23日	・平成30年度予算の補正 ・経済センター(仮称)2階イベントホールの名称 ・経済センター(仮称)への事務所移転 ・平成30年度事業報告（4月～8月） ・経済センター(仮称)バリアフリー
理事会④	3月27日	・新会員の加入 ・平成31年度事業計画（案）及び予算（案） ・給与規程の一部改正 ・平成30年度事業報告（4月～12月）